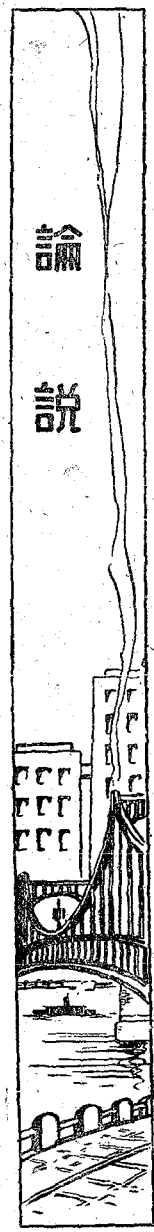

新年を迎へて

水野錬太郎

光榮に輝く紀元二千六百三年の新春を迎へ、聖壽の萬歳を壽き奉り、國運の隆昌を祈る。

顧みれば昭和十六年十二月八日一億同胞は米英擊滅の大詔を奉戴してより戰前と銃後とを問はず偏へに皇國の光榮を護り來つたのである。彼のハワイの奇襲攻擊は勿論陸に海に將た空に征く所之を擊ち、戰へば必らず勝ち、朝に一基地を陷れ、夕に一要塞を落し、皇軍の威武は赫々として世界に輝くことを得た、之れ尊嚴極りなき御稜威の下、皇軍將兵が困苦を征し善く謀り善く戰ひたる結果にして吾人は深く其の勞苦と奮鬪とに感謝の意を表し、傷病の將兵に對しては衷心より同情を寄せ其の快復を祈り、更らに戰歿の英靈に對し厚く敬弔の誠をさゝぐるものである。

○

宣戰の大詔が一度渙發せらるゝや國民は血を湧かして奮ひ起つたのである、人心は一變し陰欝は轉して明朗となり、米

英の强國を相手として戰ひ之に打克たねばならぬと云ふ覺悟を極めた。米英兩國の侵略行爲は愈々露骨となり、所謂ABCD包圍陣の强化は日一日と强化せられ、我國は遂に其の生存すら脅威を感ずるに至つた、如何に我國が隱忍し自重し來りたるも事茲に至つては已むを得ず蹶起せざるを得なかつた、正義の念に燃え立つた我國としては米英兩國に對する宣戰は拔本塞源の方策として已むを得ざるに出てたのである。從つて此の戰爭は米英兩國に對し徹底的擊滅戰であり、打倒戰である。世界の新秩序に到達する過程としてはあくまで勝ち拔かねばならぬ戰である故に如何に長期に涉るともこの戰爭は我國生存上の一大決戰たるの覺悟なかるべからざる次第である。

○

此の戰爭はハワイの奇襲攻擊に始まりマレー、シンガポール、香港の陷落、ビルマにフイリツピンに皇軍の威武は輝き、アリユシヤンに南太平洋にマレー沖海戰に三回のソロモン海戰にルガン沖夜戰に戰へは必ず勝つの海軍の强味を遺憾なく發揮し尙戰爭は續行中である、然るに一面に於て朝鮮、臺灣、樺太は內地と同一の軌道を步むべく內政化せられ、日滿支は相提携して共榮圈の確立を期し、米英蘭の勢力を驅逐したる南方諸地域との連絡は成り、大東亞共榮圈の建設も日一日其の步武を進めつゝある、何れも資源の開發に之れ努め、我が內地の生產力擴充と相俟つて益々其の强化を期しつゝあるが故に此等諸國諸地域との交通は勢ひ繁劇を加へ海上輸送に陸上運輸に力の限り其の設備を改善し其の運營の圓滑敏捷を圖らねばならぬ。

○

滿洲北支等の如き着々道路の建設に邁進し其の成果を收めつゝある、南方諸地域亦軍政下にありて其の設備を促進しマ

レーにスマトラにボルネオにフイリツピンにビルマに泰に佛印に至る處我國技術者に依りて道路の建設に力を致し其の成果をもたらしつゝあるの情態である。然るに戰爭は依然として戰はれつゝあるので其の建設事業も戰爭の一面であることを思へば勞苦の多大にして困難の鮮少ならざるは想像に難くないのである。

南方諸地域に於ける資源の開發は著しく進捗し、交通の設備着々整備せられつゝあるの秋、我國内に於ける生産力擴充も漸く其の成果を見、鑛産に農産に其の他の産業に增産は益增大に趣き、爲めに海運を陸運に轉稼せざるべからざるの事態となり、陸上運輸の施設運營の整備は一日を緩うすべからざるに至つた。然れども鐵道に依る輸送が如何に增大さるゝも道路の整備之れに伴はざるに於ては徒らに物貨の堆積を來たし、其の集散は遲緩に陷り敏捷圓滑は得て望むべからざる事となるを保し難いのである。

○

海外運輸の繁劇と内地輸送の增大とを考量するとき、吾人は海外諸地域の道路の建設改良に即應して内地道路の改善整備も一層急務たるを痛感する、然るに道路の建設改善の經費は極めて制限せらるゝを得ざる事情の下に於て如何に之を處理すべきか、玆に官民協力して道路の建設改善に維持修繕に努力するの外途なきを思はざるを得ない。道路改良會が道路愛護の團體に助成金を交付せんとするが如き其一方策たるのである。政府當局は勿論一般國民が此點に留意し銃後奉公の誠を竭すの一途として道路の建設改善整備に邁進せられんことを切望して止まざる所である。

聊か所懷の一端を述べて迎年の辭とす。